

令和5年度 第1回 学校運営協議会 議事録

校名	府立かわち野高等学校
(准)校長名	校長 尾方 崇光

開催日時	令和5年5月23日(火) 15:00 ~ 17:00
開催場所	府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム
出席者(委員)	蛭田会長、中野副会長、内田委員、江田委員、今井委員、渡邊委員
出席者(学校)	尾方校長、志村教頭、高須事務長、中田首席兼教務部長、奥首席兼第1学年主任、稲穂進路指導部長、内田生徒指導部長代理、第3学年主任 吉本、第2学年主任 松村
傍聴者	—
協議資料	「スクールミッション」「令和5年度学校経営計画及び学校評価」
備考	

議題等(次第順)

1. 学校長挨拶(校長:尾方 崇光)
2. 会長挨拶(会長:蛭田 勲)
3. 委員紹介
4. 報告:令和5年度学校経営計画の修正箇所について
5. 協議:スクールミッションについて
各分掌、各学年から本年度の重点目標について
6. 事務連絡:第2回以降の日程及び内容について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- ・令和5年度学校経営計画及び令和4年度学校経営計画評価について
R7年度選抜からの「百問繚乱」採点システムの定期考査等における試験的導入について⇒承認
学校生活をWEBページ等の発信を通して、さらに充実した取組みにしていこう⇒承認
- ・スクールミッションについて
昨年度作成時からほぼ変更なし⇒承認
スポーツサイエンス専門コースの取組みとして、近隣小学校に出前授業を計画中⇒承認
- ・各分掌、学年からの本年度重点目標について
<首席>:選抜がなくなったことにより、「学校説明会」等による広報活動修了。今後は「かわち野ブログ」等を通して、学校生活の発信を行っていく。例年同様、学内アンケートの実施に取り組んでいく。⇒承認
<教務部>:観点別評価運用2年め。運用の共有とブラッシュアップ。デジタル採点を一部試験的運用スタート⇒承認
<生徒指導部>:「遅刻」削減。学校行事をコロナ前の形に戻す。部活動の活性化。教員一枚岩での生徒指導で生徒が納得する指導。⇒承認
<進路指導部>:進路未決定率4.5%→3%。学年進路が生徒を先読みした指導。学校斡旋就職100%継続。ミスマッチ防止。就職講座において、丁寧な指導を継続し、就職に対する意識づけをしっかりと行っていく。⇒承認
<第1学年>:「当たり前」の当たり前に「仲間づくり」が目標。文化祭では初めての「合唱」に取り組む。教育支援の困り感が多かったため、保護者用のClassroomを作成して、提出物等の情報提供。⇒承認
<第2学年>:1年次に「学校は楽しいところ」をHR等で伝えてきたが、転退学が10%程いた。本年度は、生徒主体の行事を計画し、遠足ではBBQとレクリエーションの計画をさせた。次年度、新しい形の「体育祭」を実施するために組織を立ち上げ検討していく。⇒承認
<第3学年>:3学年そろった最後の学年として、リーダーとして活躍できる人材の育成。社会人として必要なスキルを身につける機会を模索中。体育祭において、団長等をプレゼンで決定していく。遅刻が大幅減。⇒承認

【委員からの意見】

- ・<蛭田会長>:「R4.評価」で肯定的意見の上昇について質問。尾方校長より、「わからない」という回答を削除したこと、クラス数減により生徒個々への手厚い対応ができたことが要因の一つと考えていると回答。
デジタル採点について。中田首席より、テスト的にやってみようが、事前準備やスキャンが大変な作業。
- ・<中野副会長>:「(新たに)やろう」を増やしすぎると継続できなくなることもあるので、目標をしっかりと決めてやっていく欲しい。ICTの活用においても、何を目的かをはっきりと定めるべき。
- ・<内田委員>:修学旅行でコロナ感染があった。まだまだ気を抜くことができない。
- ・<江田委員>:デジタル採点は、教育庁が体制を整えてからおろすべき。ChatGPTについて生徒の反応はあるか。全学年今のところはないと回答。あと3年は、生徒ファーストの学校運営をお願いしたい。
コロナの状況は？に対し、現在は落ち着いていると回答。
- ・<今井委員>:閉校までに「かわち野」から一人は採用したい。ICTについて、新入社員はタイピングより、フリック入力が多く、社会人になってもできない者が増えている。新人教育でやっている。野球部が少ないのはさびしい。
- ・<渡邊委員>:体育祭を中心とした生活をしている。応援団の練習や衣装を何にするかを楽しんでいる。遅刻は幼い頃からの積み重ねなので、時間を守る大切さをこれからも伝えていく。

次の会議日程

日時	令和5年11月27日(月) 14:10 ~ 17:00
会場	府立かわち野高等学校 2棟3階 アクティブラーニングルーム